

北陸地域政策研究フォーラムとは、北陸地域の研究者の交流、研究シーズの発掘、共同研究の推進、研究成果の社会への還元を目的とした研究のネットワークです。

自由論題の研究発表のほか、「防災と地域のレジリエンス」というテーマのシンポジウムを開催します。

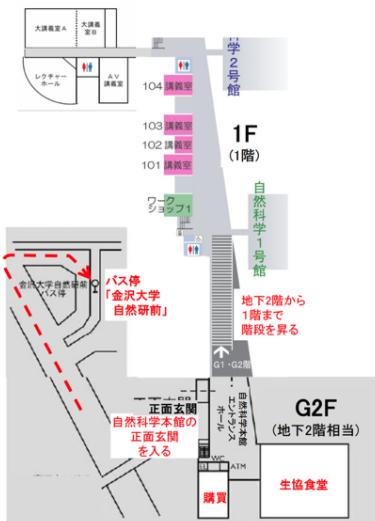
地域に開かれた研究成果の発表の場として、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

第16回

北陸地域政策研究 フォーラム

2026 3/7 (土) 10:00~18:15
(9:30 受付開始)

国立大学法人金沢大学
角間キャンパス
自然科学本館 1F
〒920-1192 石川県金沢市角間町



主催：北陸地域政策研究フォーラム
共催：地域公共政策学会、地域デザイン
学会関西北陸地域部会

交通アクセス

JR 金沢駅から路線バス-----

金沢駅兼六園口（東口）8番乗り場発 [93][94][97]

金沢大学行き（兼六園下経由）

金沢大学自然研前バス停下車

所要時間 40 分程度

自家用車-----

金沢大学南地区 H 駐車場、M 駐車場

<https://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/south/access.html>

ご来学にあたっては、なるべく公共交通機関をご利用いただきたいと存じますよう、お願い申し上げます。

バス時刻表

金沢大学自然研前	香林坊	金沢駅
18:46	19:05	19:23
18:56	19:16	19:33
19:44	20:02	20:20

問い合わせ先

金沢大学 先端観光科学研究所

菊地 直樹

nkikuchi[at]staff.kanazawa-u.ac.jp

*[at]を@に変えて送信してください

申し込み

右記 QR コードか下記アドレス
から申し込みください。



<https://forms.gle/TYfzsDYcg1iAVeAG7>

プログラム

10:00～12:00 発表 20 分 質疑 10 分

自由論題Ⅰ 地域活性化 会場 103 教室

司会：菊地 直樹（金沢大学）

・山本 真人・寺島 楓杜（富山大学）

生物多様性と生態系サービスの視点から捉える富山市の姿

・奥 敬一（富山大学）

山村人材育成ベンチャー「(一社) TOGA 森の大学校」による 6

年間の成果と課題

・江川 誠一・和田 菜記（福井大学）

ゲストハウスでの交流が導く地域活性化に関する一考察－空間

的工夫と人的工夫に着目して－

・深澤 映司（富山大学）

高齢化に伴う空き家の増加が固定資産税の徴収に及ぼす影響

自由論題Ⅱ 防災・復興 会場 104 教室

司会：近藤 智士（福井工業大学）

・藤井 善仁・川澄 厚志（金沢大学）

過疎・被災地域における若者のシビックプライドと未来志向

・川澄 厚志・藤井 善仁・中谷 陽（金沢大学）

防災・復興実践への女性の社会参画に関する基礎的研究

・中谷 陽・川澄 厚志（金沢大学）

能登の創造的復興に向けた観光資源の現状と課題－資源特性に

基づく復旧プロセスに関する基礎的考察－

・松山 淳（富山大学）

共有プール資源としてのため池管理－富山市防災重点農業用ため池を事例として－

13:00～15:00 発表 20 分 質疑 10 分

自由論題Ⅲ 観光 会場 103 教室

司会：小柳津 英知（富山大学）

・池田 千恵子（大阪公立大学/金沢大学）

分散型宿泊施設による伝統工芸の継承と地域再生－富山県南砺

市井波地区を事例として－

・八坂 徳明（高岡法科大学）

富山呉西圏域における有効な移住・定住施策について

・村松 洋介（福井県立大学）

宿泊税制度の現状と課題－金沢市宿泊税を素材として－

・神谷 颯・廣瀬 弘毅（福井県立大学）

ジニ係数と地理情報に基づく駅周辺発展の可能性

自由論題Ⅳ 産業・経営 会場 104 教室

司会：北島 啓嗣（福井県立大学）

・大野 尚弘（金沢学院大学）

金沢市中央卸市場の課題と価値創造の実態

・長谷川 浩司（福井工業大学）

北陸企業経営者に提案する男女賃金格差の処方箋

・麻里 久（福井工業大学）

生成的関係性マーケティング（GRM）、試論

・金子 宏之（福井工業大学）

富山県におけるアルミ産業連関表の作成と分析

自由論題Ⅴ 観光による地域デザイン 会場 103 教室 司会：西藤 真一（桃山学院大学）

・高橋 愛典・井出 文紀（近畿大学）・山本 敏也（大阪産業経済リサーチセンター）

アーバン・アルコールツーリズムという可能性－大阪と京都の事例に見る現状と展望－

・山本 敏也（大阪産業経済リサーチセンター）

インバウンドにおけるモノ消費とコト消費

・寺嶋 正尚（神奈川大学）

伝統工芸品のマーケティング戦略に関する一考察－京都・楽入窯の事例－

15:30-18:15

共通論題（シンポジウム） 会場 101 教室

防災と地域のレジリエンス

コーディネーター：菊地 直樹（金沢大学）

報告①武田 公子（金沢星稜大学/金沢大学）「能登の人口問題と復興理念」

報告②米屋 信弘（北陸経済研究所）「機能する BCP を構築するためには－能登半島地震、奥能登豪雨の教訓を踏まえて－」

報告③西田 朋子・秋吉 克昂（大正製薬（株））「災害時の食の課題と栄養補給」

報告④武山 Alex 義知（（株）クボタ）「現場から始める物流改革－官民・民民連携による物流効率化の取り組み－」

報告⑤桑原 美香（福井県立大学）「地域のレジリエンスについて」

ディスカッション